

## 古隅田川の環境向上 対策と管理について



石川 勝也  
議員

河川は地域の重要な用水と排水の役目を果たすもので、農地を潤すと共に地域住民を水害などから守り、日常生活に重要な働きをしています。

しかし、社会経済の発展と共に流域内に工場や住宅、倉庫などが建設され、雑排水により汚濁が進み、とくに古隅田川には、ヘドロが堆積して夏には悪臭が漂い、周辺の生活環境の悪化に繋がります。多くの市民がヘドロを浚渫し、きれいな河川になること望んでいます。環境改善に向け、どのような取り組みをされてきたのでしょうか。

また、県に対しては、どのような要求や要望を行ってきたのかお尋ねします。

### 建設部長

環境改善のため、準用河川及び生活排水路に対して、治水対策と生活環境の維持を図る観点に立ち、水路の浚渫、草刈り及びごみ等の清掃を実

施し、古隅田川に流出するごみやヘドロを少しでも抑えらるるよう努めています。

また、県に対しては、市民からの要望があった際には、現地調査を行い、埼玉県越谷県土整備事務所に連絡し、対応をお願いしています。今後とも治水及び環境対策の観点から、河川の草刈り及び浚渫等を速やかに実施していただくよう要望してまいります。

### このほか

○ごみの資源化推進と減量について

○公園の安全管理と衛生対策の向上を図るために



古隅田川

## 産直の里内牧に 道の駅を



蛭間 靖造  
議員

産直の里内牧は、消費地に近いという条件を生かし、日本ナシを中心とした果樹の栽培や四季折々の農業を営み、特色ある農業を展開している地域であり、自然が残る少ない地域であります。自然環境の保全や地域の産業の要でもある農業の活性化を図り、まちづくりを進めていかななくてはならないと考えています。

このような特長を持った内牧地域の主要地方道春日部・菖蒲線沿いに、道の駅を建設する可能性について伺います。建設が可能な場合には、農業後継者の確保や担い手の育成にもつながる直売施設などの考え方について伺います。

### 建設部長

道の駅の設置は、道路管理者がその地域に必要とするかどうかの判断によるところが大きいと思われる。道路管理者が埼玉県であるため、設置要件等が可能か調査してい

きたいと考えています。

### 環境経済部長

建設の基本計画段階で、直売機能が可能な地域連携施設を設けるか、次に直売所を設けていただけるかの検討を経て、実施計画となります。その際には、関係機関、協議会、農協等の皆様から意見を聞き、十分な調整を図り参画することになると考えています。

### このほか

○古隅田川左岸に遊歩道の設置を

○藤の牛島駅、南桜井駅間の埼玉葛広域農道（市道9-4007号線）の安全対策を

## 持続可能な社会の 構築について



白土 幸仁  
議員

環境保全にかかわる持続可能な社会づくりに向けては、特に国の政策が遅れがちな日本において、地球的な視野に立って現実的な問題に取り組む足元の行動が非常に大事であると強く感じています。

そこで、当市における環境基本計画が、今後どのような

流れで策定されるのか伺います。

また、現在の環境を知る上では、生態系調査が重要であると考えますが、今後の予定を伺います。

さらに、環境省の二酸化炭素排出抑制対策事業補助金による低公害代替エネルギー・省エネルギー車の公用車への導入や、学校施設の改修と環境教育とを連携して行う「学校エコ改修事業」の活用を図るべきだと考えますが、市の見解を伺います。

### 環境経済部長

環境基本計画は、市民意見提出制度を導入し、平成18、19年度の2か年度で策定する予定です。

生態系調査は、環境基本計画の策定後の実施に向け、学校や地域のボランティアの活用を含めて、総合的に研究してまいります。

### 財務部長

低公害車の導入は、活用が可能となる環境等が整備された段階で改めて検討します。

### 学校教育部長

今後財政状況を見ながら補助制度の活用を検討します。

### このほか

○構造改革特区について

## 旧沼端小学校について



鬼丸 裕史  
議員

旧沼端小学校と同時期に廃校になった旧谷中小学校は、敷地の一部を売却して、残りについては公園を整備して、体育館とともに市民の皆様にご利用していただく予定と聞いております。

しかし、旧沼端小学校は、いまだに閉校したままの状態です。グラウンド、体育館はスポーツなどに使用、校舎は音楽の練習などに使用しているようですが、夜などは人影がなく、寂しい場所になっています。青少年のたまり場になったり、事件などの発生などを心配している市民の方も大勢います。

- ① 廃校後の利用状況はどうか。
- ② 年間の維持管理費用は、どのくらいかかるのか。
- ③ アスベストが使用されている箇所はあるのか。
- ④ 耐震性はどの程度あるのか。

⑤ 避難場所となつていますが、ライフラインは使える状況か。

## 住民の寄附を財源に政策を実施する「寄附条例」の導入について



大山 利夫  
議員

- ① グラウンドは年間で約2万人、体育館は年間で約1万5千人、旧校舎の一部、3教室は昨年度で約3800人の方にご利用いただいています。
- ② 年間約480万円の経費がかかっている状況です。
- ③ 調査の結果、使用されていないことを確認しています。
- ④ 耐震診断は実施していませんが耐震補強には約2億5千万円が必要と考えています。
- ⑤ 電気、水道については、現在も使用しています。



旧沼端小学校

自治体の中には、地方交付税削減など厳しい財政事情が続くことから、自主財源を確保する手段として寄附条例を導入する自治体が相次いでいます。市として全国初の条例を制定した滋賀県高島市では、社会福祉及び高齢者福祉の向上に関する事業や子育て支援、次世代育成支援に関する事業など11種類の事業を提示し、一口5千円を基本として、市内のみならず、広く全国から寄附金を呼びかけています。

春日部市でも、日本一子育てしやすいまちづくりや市立病院の再整備計画などについて、寄附条例の導入をしたらどうかと提案しますが、市長のお考えを伺います。

### ○市長

地域住民が資金の提供者になることにより行政への参加意識が高まり、新たな市民参加型のまちづくりの手法となる

る可能性があると考えます。しかし、財政面からすると事業費のすべてを寄附金で賄うことは難しく、その寄附が新たな財政需要を招くという側面もあります。今後先行自治体の状況把握に努め、研究してまいります。

### このほか

- 仮称「がん対策基本法」に対する市の考えと「がんよろず相談窓口」の設置について
- 学校自由選択性について
- 野田線の複線化とJRの乗り入れについて
- 信号機の設置と車道の拡幅及び歩道の整備について

## 銚子口橋建設及び余熱利用施設の進捗について



阿部 喜一  
議員

銚子口橋の建設は、50年前に豊野村が春日部市に合併するときの条件です。対岸の越谷市でも架橋のための用地は確保されています。藤塚橋から古利根川橋までの2500m、その間に1本の橋も無く、今こそ銚子口・豊野町の方々の生活不便地帯の解消のため、

一日も早い架橋を切望する。温水プール等余熱利用施設建設は、迷惑施設を建設する際の、地元に対する還元施設としての約束事です。十数年経過しても、いまだ形すらありません。前市長からの引継ぎはあったのでしょうか。

### ○建設部長

越谷市と連携を図りながら交付金の採択に向け、県と協議を重ねてまいります。

### ○環境センター担当部長

焼却炉の耐用年数を考慮し、現在の施設を利用するのか、更新時に合わせて一緒に建設するのかなど、どちらが経済的に効率的か判断していく必要があると考えています。

### ○市長

橋梁整備計画、余熱利用施設とも、前市長から引き継いでいます。橋梁事業着手のための交付金導入採択に向けて一層努力してまいります。余熱利用施設建設は難しい状況ですが、内容の見直しを含め総合的に判断してまいります。

### このほか

○ 新市長になっても一般質問など諸問題の事後処理方法に変化はないか  
○ 市議会議員選挙の後遺症に苦しむ

**合併時の約束  
「森の中の図書館」  
早期実現を!**



福田 晃子  
議員

住民は図書館建設を待望しています。合併を機に旧庄和町役場が総合支所となり、その中に13年来待ち続けた図書館が設置されるものと、今か今かと待っています。規模も縮小することなく、当初の平成17年8月に旧庄和町で策定した「庁舎改修及び図書館設置基本計画書」に基づき、早期建設、開館すべきと考えます。3月議会以降の図書館建設に関する進捗状況、合併特例債の活用等、財源確保の状況、開館までのスケジュール等についてお伺いします。

また、市長は旧春日部市長と旧庄和町長との間で交わされた合併特例債活用候補事業に関する「申し合わせ書」について、どう考えておられるか。「申し合わせ書」に基づき早期建設、開館すべきです。  
○**社会教育部長**  
6月下旬を目前に庁内調整組織を立ち上げ、3か月くら

いかけて全庁的な調整を進め、今年度中に基本設計に向けて努めてまいりたい。規模や建設年度等については現段階でははっきりと答えられません。

○**市長**

図書館建設については、合併後の引継ぎ案件として認識しています。「申し合わせ書」はできる限り尊重したい。

このほか

○庄和地域の公費負担のダストボックス方式の継続とごみ指定袋の廃止を

○合併前の住民への約束「サービスは高い方に負担は低い方に」の基本方針を守れ!

**高すぎる介護保険料の引き下げを**



並木 敏恵  
議員

今年介護保険料の大幅な値上げが行われました。春日部地域で平均31%、庄和地域は平均65%もの値上げになりました。この65%の値上げは県内ではダントツの値上げ率です。最も値上げ額、率が高くなるケースはどれくらい値上げとなるか伺いたい。

**赤ちゃんから高齢者まで  
市民の健康と  
保健事業の充実を**



阿部 真理子  
議員

庄和地区の2か月児健康相談、4か月児健康調査の集団実施は、18年度より2か月児相談は廃止、4か月児健診は個別実施となりました。2か月という、なぜ泣くのか分からぬ、育児不安でパニックを起す時期でもあり、相談して良かった、安心したとの声を聞いています。また、4か月児健診での離乳食講習は、庄和地区では隔月実施となりました。今まで必要な事業として実施されてきた経緯があり、ぜひ引き続き実施を。

次に、赤ちゃんから高齢者まで市民の健康相談窓口として気軽に利用しやすい地域の施設を活用し、健診や相談機会を拡充し、いつまでも地域で健康に過ごすための支援を。  
○**健康保険部長**  
乳児は感染症の抵抗力が弱く、首の据わらない時期の外出はさせるべきではないとする医師会の意見もあり、2か

月児相談は廃止しましたが、毎月実施している乳幼児健康相談で対応可能と考えています。また、4か月児健診は発達の節目であり、十分に時間をかけたという要望で個別健診に統一しましたが、都合の良い日時に受診可能で利用しやすい状況となっています。

このほか

○公共施設の活用は、事業の内容等を考慮し決めていきますが、今後も多くの市民が利用しやすいよう努めていきます。

○教育について

○乳幼児医療費を就学前まで無料に



10か月児健診

## 安心 安全の まちづくりについて



内田 勝康  
議員

大沼地域は、あんしん歩行エリアに指定され、5年間で安全工事が行われていくという事です。平成18年度の事業については、秀和総合病院を通じて春日部共栄高校に向かう通りにある変則的な交差点の解消工事を行うという話を聞きますが、実際に行われるのかどうか、お伺いします。また、5年間にわたってのあんしん歩行エリアとしての事業は、どういうことを予定しているのか教えていただきたいと思っています。

### 建設部長

大沼地区のあんしん歩行エリアは、平成15年度に埼玉県道路交通安全環境推進連絡会議から指定を受けました。

事業計画につきましては、平成17年度は、もとの秀和病院の南側道路である市道4―87号線と、上沖小学校の南側道路である市道6―23号線の2路線について、歩車道境界

ブロックにより歩行者の安全を図る歩道工事を実施しました。平成18年度以降の予定は、ご質問の秀和総合病院から春日部共栄高校に向かう通りの市道1―17号線と消防本部前からウイング・ハットに向かう通りの市道1―23号線が交差する、変則的な交差点の慢性的な渋滞の解消のため、交差点改良を行うものです。平成18年度は道路用地の買収を行い、平成19年度は道路部分の路床工と水路工事を行います。平成20年度には、本体工事の舗装や歩車道境界ブロックの設置を行う予定です。

## 中核市を目指した 市町村合併について



鳴島 武  
議員

今後の合併に対する市長のお考えをお伺いします。

杉戸町、宮代町との合併は実現しませんでした。東部の交通の要衝としての地の利を生かして、中核市を目指すためにも、旧1市3町の枠組で合併を推進すべきだと思います。

## 庄和総合支所の 有効活用について



鈴木 保  
議員

庄和総合支所は、平成4年4月にオープンした近代的ですばらしい森の中の庁舎で、旧庄和町民の皆様が慣れ親しんだ庁舎でした。庄和町当時は、二百数十人の職員で活気にあふれていましたが、合併後は庄和総合支所となり、現在、8課11担当、職員数72人体制で、2階、3階部分は、まったく利用されていません。

一方、本庁舎は各部署がくつき合って空間がなく、机上には書類等が多く積み、よい職場環境とは言い難いと思います。特に、西側にある別棟の2階建てプレハブは、建物に支柱がなく、大地震等が発生した場合には、倒壊のおそれがあると感じています。そこで、庄和総合支所へいくつかの部署を移動し、職員が安心、安全に仕事をできる環境にすべきだと思います。ご理解を伺います。

### 市長

このほか  
○交通網の整備について



庄和総合支所2階

庄和総合支所は、本庁において一括して処理したほうが効率的な事務事業を除き、これまでどおりの窓口サービスの実施を基本に、8課11担当、職員72人を1階部分に配置し、運営を行っています。2階の空きスペースについては、現在、図書館を中心とした活用策を検討中であり、すぐに本庁機能の一部を移転することは考えていませんが、ご提言を参考に、総合的な有効活用について検討をしてまいります。このほか

○ごみ袋の早期統一について

## 防犯パトロール 対策について



渡田 智秀  
議員

自治会などで子どもの安全を守るためにチョッキを着て防犯パトロールをしています。大変ありがたいことなのですが、おのおのがチョッキを作成しており、それを悪用して犯罪を引き起こそうと考える者がいるかもしれません。

新市の市章も決定したのでバラバラなチョッキに市章のマーク等をつけてもらい、子どもたちに信頼できる防犯関係の人だとわかるようにしたらどうでしょうか。

また、市の公用車に防犯パトロール中のマグネット看板を付けることのでかかなりの防犯対策になると思います。そんなに予算をかけることなく実現できると思います。ぜひやっていただけないでしょうか。

### ○市民部長

市としても、子ども達にわかりやすくする必要性は感じております。今後はパトロール団体の全体の把握に努める

とともに、自治会、PTA、学校、警察などと協議しながらチョッキの統一したマーク等の実現に向けて研究してまいります。

また、公用車に市内防犯パトロール中の看板をつけることに関しては、他業務で使用したマグネットを再利用し、防犯対策に向けて早急に実施したいと考えております。

### このほか

○大沼中学校、上沖小学校付近の道路再整備について

○新春日部のイメージアップについて

○信号対策について



公用車に防犯看板

## 男女共同参画条例は 実効性あるものに



村松 君子  
議員

市の男女共同参画推進条例は、合併のため制定が遅れております。遅くなった分、ぜひ真の男女平等のための、実効性ある良い条例づくりをしていただきたいと思っております。そのため、次の点を盛り込むよう提案します。

①男女平等の基本理念、目的を明記すること。

②基本施策を明確に位置づけること。家庭内における民主主義や、性と生殖の健康と権利、企業責任の明記、あらゆる差別の禁止、セクハラ・ドメスティックバイオレンスの禁止など。

③行政の役割を明記すること。必要な財政上の措置を設けて、市の役割、責任を明記すること。

④苦情、相談の解決と救済制度を設けること。

⑤条例の推進体制の整備のため、進捗状況を毎年市民に公表すること。

また、条例制定は、今年度とお聞きしていますが、確認をお願いいたします。

### ○市民部長

実効性のあるものとするため、要点をしっかりと押さえた条文を作成してまいります。また、市民意見提出制度を実施し、今年度内には議会に提案したいと考えています。

### ○市長

男女共同参画の推進に関する施策を実施するために、体制の整備及び財政措置を講じてまいりたいと考えています。

### このほか

○介護保険の改善について

## 企業の協賛などによる 子育て支援について



五十嵐みどり  
議員

合計特殊出生率が過去最低を記録するなど少子化がさらに進行しており、子どもを産み育てやすい環境をつくり、子育て家庭を応援していくことが求められています。

さて、このような状況の中で、地域から子育て中の家庭の負担を軽減しようと商店で買い

物をするときや公共施設を利用する際に、料金の割引や特典を受けられるサービスを提供する自治体が全国で増えつつあります。

このようなサービスを利用している子育て家庭の方からは好評を得るとともに、協賛する企業や商店にとってもイメージ向上につながり、活気づいているようです。

春日部市においても市内の企業や商店に働きかけて実施できないのか伺います。

### ○福祉部長

地域における子育て支援という側面を踏まえ、協賛する企業や店舗の賛同を得ることはもとより、地域全体で子育てを応援する機運を醸し出すことが重要であると考えます。

今後、関係部署、団体へ情報を積極的に提供するとともに、財政面において、国が運営費を補助する動きもあることから、今後の国や県の動向を注視しながら対応を図ってまいりたいと考えております。

### このほか

○一ノ割駅周辺の道路改修について

○緑町六丁目の一区画の投票所をハーモニー春日部から備後西川会館に

## NPO育成支援等を含めた 市民参加のあり方について



小久保博史  
議員

住みよいまちを目指してという観点のもと、新春日部市のまちづくりを進める上で、どのような考え方で市民参加を進めていくのか伺います。

また、現在、市民ニーズは増え、財源は減少しています。最少の経費で最大の効果を生む場合、当然、役割分担をしなければ行政単体では抱えきれないのが明らかであります。この分担先としてNPOの参画も不可欠であると考えますが、現状ではまだまだ発展途上の段階であります。手を差し伸べ成長していただくための育成支援について、政策的な考え方を伺います。

### ○総合政策部長

市民参加については、市民が主役のまちを創出するという理想に向けたプロセスとして、大変重要な要素ととらえております。計画の策定におけるワークショップの開催や市長への提言、市長の出前市

政懇談会など、市民意見を反映した市政運営を進めてまいりたいと考えております。

また、NPO支援については、NPO活動やボランティア活動等の情報ステーションとなる市民活動支援センターの設置を進めるとともに、今後どのようなNPO支援の方法がよいのか整理してまいりたいと考えております。

### このほか

○土地利用計画等を含めたまちづくりの方向性について  
○循環型地域社会の構築に向けて



## 陳情

### ○陳情第1号

庄和地区都市計画道路の整備促進についての陳情

## 今定例会の日程

5月26日

開会、議案第76号から第96号までの上程・説明、諮問第1号の上程・説明・質疑・討論・採決

5月30日

議案第76号から議案第96号までに対する質疑

6月1日

常任委員会

6月5日

一般質問（6人）

6月6日

一般質問（6人）

6月8日

一般質問（6人）

6月12日

一般質問（6人）

6月13日

一般質問（6人）

6月15日・16日

市長及び調査会委員長の病院事業会計5月例月出納検査等に関する調査会についての報告に対する緊急質問

6月16日

常任委員長報告とそれに対する質疑、各議案並びに請願に対する討論・採決、議員提出議案の上程・説明・質疑・討論・採決、閉会

## 永年勤続議員表彰

5月24日に開催されました全国市議会議長会定期総会において、次の方が表彰されました。

- 卯月 武彦
- 並木 敏恵
- 山崎 進
- 小久保 博史
- 河井 美久
- 石川 良三

## 10年表彰

- ▽ 図書室運営委員会  
7月4日
- ・ 図書費予算について
- ・ 図書申し込みについて
- ▽ 議会だより編集委員会  
6月20日
- ・ 議会だより第4号の発行について
- 7月4日
- ・ 議会だより第4号の発行について

## 閉会中の委員会活動

▽ 議会運営委員会  
5月22日

・ 平成18年6月定例会運営について

## 政治家の寄附行為は禁止されています

- 地域の行事やスポーツ大会への飲食物の差入れ
- 町内会の集会や旅行などの催し物への寸志や飲食物の差入れ
- お祭りへの寄附や差入れ
- お中元やお歳暮
- 入学、卒業、就職祝
- 落成式、開店祝の花輪
- 病気見舞い
- 葬式の花輪や供花